



産直ニュース（農・畜・水産）22週号



生活クラブの産直材は、より美味しくより安心して頂ける様に生産者を指定しています。このため、天候・生育状況等によってはお届け週が予定変更になる場合や、緊急にお知らせが必要な場合もありますので、本ニュースで産地の状況をお知らせします。

生活クラブ関西

*よ・やくる 果物類のお届けは下表をご参考にして下さい。

今後のお届け品スケジュール

単協 事業所	大阪					京都		奈良	滋賀
	茨木	豊能	香里	門真	平野	西	東	奈良	滋賀
22週	小玉スイカ①(残り曜日)		小玉スイカ②(木曜のみ)			イエローキングメロン			
	パイナップル(ピーチ種)①					河内晩柑⑦			
23週	小玉スイカ②(!)					梅酒用生梅(!)			
	パイナップル(ボゴール種)⑥			河内晩柑⑧		肥後グリーンメロン①(!)			
24週	さくらんぼ①(!)		小玉スイカ③(!)		梅干し用生梅(!)		落ち梅(!)		
	パイナップル(ピーチ種)②			河内晩柑⑨		肥後グリーンメロン②(!)			
25週	さくらんぼ②(!)					田中びわ(!)			
	パイナップル(ボゴール種)⑦			河内晩柑⑩		肥後グリーンメロン③(!)			

*(!)は調整の可能性有ります。

お知らせ 産地情報

■**気温低下の影響**…4月の低温により青果類の生育が全体的に遅れ気味となっています。

◇よやく・る 梅

和歌山県みなべ地区の梅生育状況は、平年よりも3日・昨年よりも7日程度遅れているとの状況です。このため、生梅のお届けは以下を想定しています。(熟度の進み具合で再変更の可能性もあります)

- ・梅酒用…23週に一部曜日のみお届け(残りは24週でお届けとなります)
- ・梅干用…24週に一部曜日のみお届け(残りは25週でお届けとなります)

■**泉州:植田さん…玉ねぎ 出荷はじまりました!**

よやく・る玉ねぎの生産者の一つ泉州:植田 寛さんの園地では5月下旬から収穫が始まっています。

昨年9月末に種蒔きして苗を育て、11月~1月にかけて定植をした玉ねぎ。早生種の「七宝早生」から順に中生種「七宝甘」晩生種「もみじ」などを6月一杯にかけて収穫していきます。

「寒い冬だったけど玉肥りもまずまずで、比較的順調な生育でした」「ただ、苗がいつも通りの量を播種したのに採れた苗の本数が何故か不足、定植する面積がいつもより1割ほど減ったのが残念。こんな初めてです。」見れば収穫中の園地の半分程は、玉ねぎは無く雑草が生えていました。

購入した「種」の品質が悪く発芽率が低かった事が原因と思われる。



◇**農薬不使用**

最近、近隣の農家でも病気が多くなり、4条植え(一畝に4苗定植)から昔の作型である2条植えに戻す農家も出てきたとの事。(2条にすることで風通しを良くして病気を防ぐ狙い)

「うちも2条植えの時から病気は収まらなかった。けど、堆肥の工夫をして土づくりに力を入れてから農薬使わなくても病気は収まり、2条から4条に変更して8年くらいたっています。やっぱり大事なものは土づくり。」

2011年から自家製堆肥を製造し、農薬不使用に転換した植田さん。

当時、堆肥づくり→苗床の太陽熱処理→ボカシ肥料づくり→播種・苗づくり→定植→収穫…年間のすべての工程を「有機栽培試験実行委員会」として毎週のように組合員が来訪して一緒に取り組んだことが思い出されます。

あれから10年経ち、農薬に頼らない玉ねぎづくりが当たり前になり『土づくり』への自信が何えました。

